

2024年7月19-21日
KYOJO CUP 富士スピードウェイ
レースレポート

Rd.2 QF 8th / RACE 10th

Rd.3 QF 9th / RACE 11th



予選 Qualifying

国内最高峰レース、スーパーフォーミュラーと併催される今回は、29台のエントリーでした！
レースウィークから自分の流れを大事にしよう意識していたのもあり、予選時の出走タイミングを見ながらコースイン。

前との距離を開けながらアタックしますが、開けすぎてスリップストリームが効かない距離へ…

それでも自分のタイミングを大事にしながらアタック開始。2,01.3を出して、10番手タイムに。予選後ペナルティなどが多発し、8位まで繰り上げとなりました。

今大会はベストタイムと2ndベストがRd.2とRd.3のグリッド順になるということで、2ndベストは2,01,5の9番手となりました。



決勝 Rd.2 Race

レースまでに練習を重ね、気合を入れて挑んだ1戦。シグナルに集中し、レーススタートと同時に飛び出します。少しブレーキを攻めすぎて、アウト側でキープしていたところ、イン側からの車両2台に追突さ、押し出される形に…

しかし、コースに復帰することができ、14位まで順位を落としますが、1台ずつ抜き返していきます。すると、Aコーナーでの他車のクラッシュにより、SC（セーフティーカー）が入ります。2～3周ほどSCが入り、再スタートのチャンスを伺います。

しっかり前とのペースを保っていましたが、スープラコーナーで立ち上がり重視を考えていましたが、出遅れてしまいました。1コーナーで距離を詰め、ヘアピンで1台抜きながらポジションをすこしずつ巻き返します。

冷静に、チャンスは必ずやってくることを信じ、周回していると、10周目で再度SCが入り、そのままチェッカーとなりました。



決勝 Rd.3 Race



前日のスタート直後のポジション取りを考え直し、Rd.3でも改めてスタートに集中します。

良くも悪くもないスタートとなり、1コーナー立ち上がりで前の車両と並びます。Aコーナーまで並びましたが、アウト側でスピードが高く、コースアウトしましたが、無事にコース復帰しポジションキープ。

1周目の100Rは今まで苦手意識があり、この周でも並ばれかけましたが、なんとかスピードを落としすぎずキープすることができ、ポジションをキープできました。

その後、スピン車両もあり、ポジションを上げながら、前方の車両に追いつき、抜くチャンスを伺います。

4位～私のいる8位までがツ習っている状態で、タイミングが合えばこの周、それか次の周で刺そう！と思った矢先、思ったよりも速いタイミングでブレーキを踏まれ、ぎりぎり避けながらのブレーキングで焦ってしまいシフトタイミングがずれ、失速。前の車両より前に出たものの、立ち上がりが悪く抜き返され、さらに一台にも抜かれ元のポジションに戻ります。そこから冷静にタイミングを見て前の車両についていくのがやっとでしたが、最終周で、4台で6位争いに。1台がスピンしそれをよけながら8位でチェッカーを受けますが、4脱ペナルティを受けてしまい5秒加算。

結果11位でのフィニッシュとなりました。

沢山練習してきたこと、

一生懸命メンテナンスしてくれたメカニックさん、

応援してくれる皆さんのパワー

沢山の思いを感じながら挑んだ今回のレース。

スーパフォーマチュラと併催ということもあり、
気合十分で挑みましたが、
思うようにいかない結果に、非常に落ち込みまし
た。

しかし、落ち込んでいるだけでは何も進まない、
やってきたことは間違っていない、
だめだ！という点が分かったことでもこれからの
私の糧になると信じて、
もう次戦まで時間はありません。

限られた時間の中で、どこまで自分と向き合えるか

応援していただけると嬉しいです。

今回もたくさんの応援ありがとうございました！

岩岡万梨恵



Supported by

